


9月 モニターレポート		担当出張所	木津川出張所
担当区間	木津川下流両岸 京阪木津川橋～山城大橋 (1.6～13.5km)		
モニター実施日時	令和元年9月22日(日) 15時頃～15時半過ぎ		
天候	くもりのち雨		
<p>(見出し)</p> <p>今月は、木津川河川敷運動公園～流れ橋の右岸についてモニターしました。 河川の様子、河川敷の様子、堤防の様子、ゴミの不法投棄、などについて報告します。</p>			
<p>(内容)</p> <p>木津川河川敷運動公園から下流に向かって、高水敷右側を歩き始めました。 この日は台風の影響で天気が悪かったのですが、運動公園では中学生のソフトテニスの試合や、少年野球団の練習風景が見られました。</p>			
			
<p>草刈り後でしょうか、見通しは暫くよかったです。</p>			



一部、看板が草に埋もれていたり、倒れかけていました。前後しますが、まとめて写真を添付いたします



新名神の高架下は、落書き、ゴミはありませんでした。バーベQでしょうか、アウトドアセットが置いてありました。不法滞在者の物かもしれませんが、判断できませんでした。



新名神の高架下をくぐってしばらく歩いたところに、桜並木のところは、草刈りが終わっているようでした。



しばらく行くと、「五里五里の里に・・・」という看板付近に来ました。

おそらく、河川敷の畑に行く人の車かと思いますが、何台か駐車されていました。他府県ナンバーの車もありました。停めてもいい場所ですか？

許可車両かもしれないですが、知らない人を見ると停めてもいいのかなと思うかもしれません。客観的に判断している許可証などはないのでしょうか。



階段付近、草が生えていて、危険かと思います。特に手すり付近は、手すりは持てません。



流れ橋が近づきました。私は初めて来たのですが、分岐点をどちらに進めばよいのか、一瞬迷いました。分岐点に看板を設置してもらえたらわかりやすいな、と思いました。あと、草も生えていてわかり辛かったです。



流れ橋から見る川は、思っていたよりも綺麗でした。あと、写真スポットなのか、カメラを構えている方何人かいました。



河川敷に、石で作った絵があって、和みました。こういう感じで、河川敷に石を並べて、絵を描くようなイベントがあっても面白いかなとおもいました。



到着しました。



今回も、ランニングしながらモニターをしました。

一部除草作業をされている場所もありましたが、看板付近や階段、東屋付近などは、除草が必要かと思いました。近隣の方、学校などに委託することはできないでしょうか。

(意見・感想・処置等)

今月もランニングでのモニターを有り難うございました。

9月も半ばを過ぎても未だ蒸し暑い日が続いていますが、夕方になると鈴虫やマツムシ、こおろぎの音がどこからともなく聴こえてくるようになり少しだけ秋を感じとれるようになってきました。

木津川河川敷運動公園は城陽市が占有しておりグラウンド側堤防法面の除草は占有者である城陽市が実施することになっていますので、城陽市が除草作業を実施して間もないので見通しが良かったのだと思います。

桜並木箇所も占有している城陽市が除草したところのようです。堤防点検のための除草は9月半ばより下流から実施しています。

橋の下は日陰になりますし雨も除けられますのでバーベキューを楽しむ方が多く、後片付けをキッチリしてもらえれば、みんなが気持ちよく利用できるのですが、一部の人がゴミを置いていたりするので悲しい気持ちになりますね。

五里五里の里付近の堤防天端は城陽市道になっており自動車の通行が可能で、駐車禁止の看板が見当たりませんので違反ではないようです。

階段や坂路は占有が多く、その場合は占有者が除草を実施する必要がありますが、国管理の階段等もありますので、今後整理し国の階段の周りの除草をお盆頃にも実施するなど検討します。

流れ橋（上津屋橋）は梅雨や台風がもたらす豪雨のため、川の水位が上がると橋板や橋桁が流れ出すというその独特の構造から通称「流れ橋」と呼ばれていて、橋は昭和28年（1953年）3月の架設以来、通算22回（令和元年9月末現在）の流出を記録しています。昭和28年といえば、まだ戦後間もない時期だけに、いかに安価でしかも洪水による損害の少ないものを作るかという事に重きを置いて、当時の技術者が知恵を絞って作ったあとが想像できます。

石で作った絵は子供さんが作られたのでしょうか。木津川は砂の河ですので鳥取にある砂の博物館（サンドミュージアム）のような催しも楽しいかもしれませんね。

次回のモニターも楽しみにしております。